

## UV 検出器の保守

UV検出器に周期的なノイズ、連続的なドリフトなどが認められた時はフローセルに原因がある場合があります。その場合のフローセルの取り外し及び洗浄の仕方を下記に述べます。

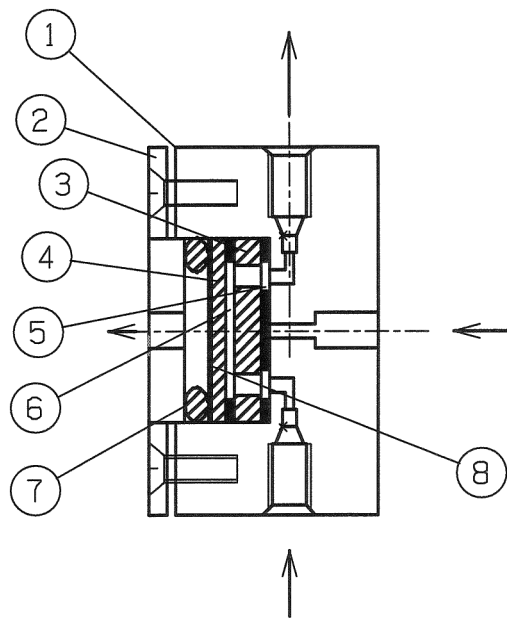
### 取り外し

- 1) カラムカバーを取り外します
- 2) フローセルのIN,OUTにつながっている配管を外し、ロックネジ2本をゆるめフローセルを手前に引き出します。

### フローセルの洗浄

- ① フローセルに洩れがなく、窓板に汚れの付着等が認められる時には、次の様な方法で汚れを取り除いて下さい。
  - 1) ポンプのOUT側（プレカラムのIN側）に直接フローセルを接続して高流速で流します。
  - 2) 別の溶媒（フローセル中の残液と可溶性溶媒）を流します。
  - 3) 有機溶媒使用の際はTHFやトルエンを流すのも有効です。
  - 4) バッファを使用していた時には、十分に蒸留水又はイオン交換水を流して下さい。
- ② 上記の方法にて汚れがとれない場合は分解洗浄をする必要があります。  
尚、組立後リークテストなど行えない場合がありますのでなるべく当社技術サービスまでご連絡下さい。  
次項にフローセル組立図（図7-1）及び各パーツの名称を示します。

### フローセル組立図（図7-1）



- ① フローセル本体
- ② セル窓押さえフランジ
- ③ セル窓（穴あき）
- ④ セル窓（穴なし）
- ⑤ テフロンワッシャ（3つ穴）
- ⑥ テフロンワッシャ（長穴）0.2mm
- ⑦ Oリング
- ⑧ テフロンワッシャ（1つ穴）

### 光源ランプ

UV-310B/3702B本体に使用している重水素ランプの平均保証寿命時間は、約**2000時間**です。フローセルを洗浄してもノイズが多い場合や、感度が極端に低下した場合は、重水素ランプの劣化が考えられます。この様な時には以下の手順で新しいランプと交換して下さい。尚、UV検出器本体をLC-908W本体より取り出す必要がありますので、多少の経験者以外の方は当社技術サービスまでご連絡下さい。

### 交換手順

- 1) "POWER"スイッチを"OFF"にします。
- 2) 本体左側面の光源部のカバーを+ドライバーでネジをゆるめてとりはずします。
- 3) カバーをとりはずしますと、D2ランプユニットセットスクリューで、ホルダーに固定されています。
- 4) D2ランプユニットの3本のリード線を端子盤よりはずします。
- 5) 2本のセットスクリューをゆるめリングを持ってD2ランプユニットをホルダーより抜きとります。
- 6) 新しいD2ランプユニットを、ホルダーに差し込みます。この時差込む方向は、セットスクリュー2個とD2ランプユニットの高さ固定ネジが一致する様に差込んでください。
- 7) セットスクリューを、D2ランプユニットが回転する程度に軽く締めつけ、D2ランプユニットのリード線を端子盤にとりつけます。リード線は、端子盤に来ている線の色に合わせて赤を赤に、青を青に接続します。
- 8) 波長ダイヤルを、210nmに設定します。
- 9) "POWER"スイッチを"ON"にしてD2ランプを点灯させます。
- 10) 後面についている"CHECK"スイッチを"R"にします。  
リファレンス側の透過光に比例した信号が、デジタル表示パネルに数値となって表われます。

- 11) D2ランプユニットのリングを持って左右に、微回転させデジタル表示パネルの数値が最大になる位置を探します。
- 12) 数値がほぼ最大の位置で、セットスクリーンを締めてD2ランプユニットを固定します。
- 13) 光源部カバーを取りつけます。



D2ランプはチューブの中に固定されていますが、点灯後はかなりの高温度となりますので、素手ではさわらないでください。  
必ず筋目のついたリングの部分を持って調整してください。